

別記様式第15号(第17条関係)

第15号様式(第17条関係)(A4)

1 鉄骨造用

工事施工計画報告書

(表面)

次のとおり工事の施工の計画を報告します。 <div style="text-align: right;">年 月 日</div> 建築主事宛て <div style="text-align: right;">報告者 住 所 ふりがな 氏 名</div>	
1	建築主の住所・氏名 住所 ふりがな 氏名 <div style="text-align: right;">電話番号</div>
2	工事監理者の住所・氏名 住所 ふりがな 氏名 <div style="text-align: right;">電話番号 ()級建築士 () 第 号 ()級建築士事務所・登録第 号</div>
3	工事施工者の住所・氏名 住所 ふりがな 氏名 <div style="text-align: right;">電話番号 建設業者許可番号()第 号</div>
4	確認済証年月日及び確認済証番号 <div style="text-align: right;">年 月 日 第 号</div>
5	指定確認検査機関名及び建築基準判定資格者名 機関名 <div style="text-align: right;">資格者名</div>
6	溶接工事施工者 住 所 氏 名
	鉄骨加工工場の名称 <div style="text-align: right;">電話番号</div>

7		溶接管理責任者の所属資格及び氏名						
8		溶接検査責任者の資格及び氏名						
9	鋼材	最大使用板厚	SS400		溶接継目の短期許容応力度	SS400突合せ	F	0.9F
			SM490			SM490突合せ	F	0.9F
		製造会社			高力ボルトの種類及び品名			
10		エンドタブの種類と使用部位	スチールタブ	フラックスタブ	ゲージタブ			
11	工事	突合せ	使用部位	鋼種	溶接棒	溶接工の資格及び人数	検査方法	
		溶接	すみ肉					
	現場	突合せ						
		溶接	すみ肉					
12		検査	検査機関の所在地、名称及び代表者名		所在地名称			
準拠基準		工作			電話番号			
13		鉄骨建方工事	開始予定日	年	月	日		
予定年月日		終了予定日	年	月	日			

1 鉄骨造用(A4)
(裏面)

14 使用 材料	セメント	品名	種別		製造工場	
	細骨材	品名	種別		塩分量	
	粗骨材	品名	種別		最大寸法	
	混和材					
	レディーミク ストコンクリ ート	製造会社及び製造工場名 (JIS認定 有 無)	ポンプ車の圧送 能力 形式 口径	打込み速度		
15 基礎等 工事		打込み予 定年月日	コンクリ ートの種 類	呼び強度	設計基準 強度	スランプ
	基礎及び基礎 ばり	年 月 日				
	地下 階	年 月 日				
16	その他必要 な事項					
17	備 考					

- (注意) 1 報告者、建築主、工事監理者及び工事施工者が法人のときは、報告者、建築主、工事監理者及び工事施工者の住所及び氏名には、法人の主たる事務所の所在地並びに法人の氏名及び代表者の氏名を記入してください。
- 2 5欄は、宇治市建築主事以外の者が確認済証を交付した場合に記入してください。
- 3 9欄及び14欄は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

4 工事施工計画報告書について

- (1) 確認を受けた鉄骨造の建築物で、次のいずれかに該当する建築物については、主要構造部の工事を着手する前に、この報告書に必要な事項を記入し、建築主事に提出してください。また、主要構造部の工事が完了した後、速やかに別に定める工事施工結果報告書に必要な事項を記入し、工事写真及び試験成績表を添えて、建築主事に提出してください。なお、対象となる建築物が2棟以上ある場合は、棟ごとに報告書を作成し提出してください。

ア 地階を除く階数が3以上のもの

イ 延べ面積が500平方メートルを超えるもの

ウ その他建築主事が特に必要と認めて指定するもの

- (2) XY方向、高さ方向あるいは平面的に構造が異なる併用構造や鉄筋コンクリート造りで大屋根が鉄骨造のものなどは、鉄骨鉄筋コンクリート造用の報告書で報告してください。

なお、地階が鉄筋コンクリート造のものは鉄骨造用とします。

第15号様式(第17条関係)(A4)

2 鉄筋コンクリート造用

工事施工計画報告書

(表面)

次のとおり工事の施工の計画を報告します。 <div style="text-align: right;">年 月 日</div> 建築主事宛て <div style="text-align: right;">報告者 住所 ふりがな 氏 名</div>				
1	建築主の住所・氏名	住所 ふりがな 氏名	電話番号	
2	工事監理者の住所・氏名	住所 ふりがな 氏名	電話番号 ()級建築士 () 第 号 ()級建築士事務所・登録第 号	
3	工事施工者の住所・氏名	住所 ふりがな 氏名	電話番号 建設業者許可番号()第 号	
4	確認済証番号及び確認済証年月日	第 号 年 月 日		
5	指定確認検査機関名及び建築基準判定資格者名	機関名	資格者名	
6 使用材料	セメント	品名	種別	製造工場
	細骨材	品名	種別	塩分量
	粗骨材	品名	種別	最大寸法
	混和材			

レディーミク ストコンクリ ート		製造会社及び製造工場名 (JIS認定 有 無)				ポンプ車の圧送 能力 形式 口径			打 込 み 速 度		
棒 鋼	種類	継手方法		製造会社		ガス圧接等の検査方法					
7 設計 かぶり 厚 さ		部 位	土に接しない部分			土に接 する部 分	部 位	土に接しない部分			土に接 する部 分
		柱	屋外		屋内		は り	屋外		屋内	
7 設計 かぶり 厚 さ		屋根版	屋外		屋内		耐力壁	屋外		屋内	
		床 版	下端		上端		非耐力 壁	屋外		屋内	
8 調 合 計 画	番号	打 込 み 部 位	打 込 み 予 定 時 期	コンク リート の 種 類	設 計 基 準 強 度	呼 び 強 度	スラン プ	空 気 量	水セメ ント比	単 位 水 量	細 骨 材 率
	1										
	2										
	3										
	4										
	5										
9 打 込 み 計 画	調 合 計 画 番 号										
	打 込 み 箇 所										
	打 込 み 予 定 年 月 日										
	打 込 み 容 量										
	予 定 試 験 回 数										
	容 積 計				普通			計量		合計	

2 鉄筋コンクリート造用(A4)
(裏面)

10	ポンプ車	形式	台	打込み 速 度	水平配 管長さ
		口径	数		垂直配 管長さ
施工養生計画	締 固 め	棒突き 人 バイブレイター 台			
	養生方法	夏季() 冬季()			
	支保工の 撤 去	早期に撤去する計画 (階はり下 日・ 階床版下 日)			
		有 無 (階はり下 日・ 階床版下 日)			
11 コンクリートの劣化対策	塩化物の予測	1立方メートルにつき0.3キログラム以下 1立方メートルにつき0.3キログラムを超え0.6キログラム以下 1立方メートルにつき0.6キログラムを超える			
	塩 害 対 策				
	塩 害 の 要 因	有() 無			
	アルカリ骨材 反 応 対 策	無害骨材の使用 低アルカリ形セメントの使用 アルカリ総量 混合セメントの使用			
16	その他必要な 事項				
17	備 考				

- (注意) 1 報告者、建築主、工事監理者及び工事施工者が法人のときは、報告者、建築主、工事監理者及び工事施工者の住所及び氏名には、法人の主たる事務所の所在地並びに法人の氏名及び代表者の氏名を記入してください。
- 2 5欄は、宇治市建築主事以外の者が確認済証を交付した場合に記入してください。
- 3 6欄、10欄及び11欄は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

4 工事施工計画報告書について

- (1) 確認を受けた鉄筋コンクリート造の建築物で、次のいずれかに該当する建築物については、主要構造部の工事を着手する前に、この報告書に必要な事項を記入し、建築主事に提出してください。また、主要構造部の工事が完了した後、速やかに別に定める工事施工結果報告書に必要な事項を記入し、工事写真及び試験成績表を添えて、建築主事に提出してください。なお、対象となる建築物が2棟以上ある場合は、棟ごとに報告書を作成し提出してください。

ア 地階を除く階数が3以上のもの

イ 延べ面積が500平方メートルを超えるもの

ウ その他建築主事が特に必要と認めて指定するもの

- (2) XY方向、高さ方向あるいは平面的に構造が異なる併用構造や鉄筋コンクリート造で大屋根が鉄骨造のものなどは、鉄骨鉄筋コンクリート造用の報告書で報告してください。

なお、地階が鉄筋コンクリート造のものは鉄骨造用とします。

第15号様式(第17条関係)(A4)

3 鉄骨鉄筋コンクリート造用

工事施工計画報告書

(表面)

次のとおり工事の施工の計画を報告します。 年 月 日 建築主事宛て 報告者 住 所 フリガナ 氏 名	
1	建築主の住所・氏名 住所 フリガナ 氏名 電話番号
2	工事監理者の住所・氏名 住所 フリガナ 氏名 電話番号 ()級建築士 () 第 号 ()級建築士事務所・登録第 号
3	工事施工者の住所・氏名 住所 フリガナ 氏名 電話番号 建設業者許可番号()第 号
4	確認済証番号及び確認済証年月日 第 号 年 月 日
5	指定確認検査機関名及び建築基準判定資格者名 機関名 資格者名
6	住所名 氏 名
	鉄骨加工工場の名称 電話番号

7	溶接管理 責任者の 所属資格 及び氏名										
8	溶接検査 責任者の 資格及び 氏名										
9	鋼材	最大使用 板厚	SS400		溶接継目 の短期許 容応力度	SS400突合せ	F	0.9F			
			SM490			SM490突合せ	F	0.9F			
	製造会社			高力ボルトの種類及び 品名							
10	エンドタブの種 類と使用部位		スチールタブ		フラックスタブ		ゲージタブ				
11	溶接工事の内訳	工事	突合せ	使用部 位	鋼種	溶接棒	溶接工の資 格及び人 数		検査方法		
		溶接	すみ肉								
		現場	突合せ								
		溶接	すみ肉								
12	準拠 基準	検査 工作			検査機関の 所在地、 名称及び 代表者名	所在地 名称		電話番号			
13	鉄骨建方工事 予定年月日		開始予定日		年	月	日	完了予定日	年	月	日
14	使用材料	セメント		品名	種別		製造工場				
		細骨材		品名	種別		塩分量				
		粗骨材		品名	種別		最大寸法				
		混和材									

3 鉄骨鉄筋コンクリート造用(A4)

(裏面)

15 使用材料	レディーミック ストコンクリート		製造会社及び製造工場名 (JIS認定 有 無)									
	棒鋼	種類	継手方法	製造会社	ガス圧接等の検査方法							
16 設計かぶり厚さ	部位	土に接しない部分			土に接する部分	部位	土に接しない部分			土に接する部分		
	柱	屋外	屋内		はり	屋外	屋内					
	屋根版	屋外	屋内		耐力壁	屋外	屋内					
	床版	下端	上端		非耐力壁	屋外	屋内					
17 調査計画	番号	打込み部位	打込み予定時期	コンクリートの種類	設計基準強度	呼び強度	スランプ	空気量	水セメント比	単位水量	細骨材率	
	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
18 打込み計画	調査計画番号		打込み箇所 打込み予定年月日 打込み容量 予定試験回数 容積計									
19 施工養生計画	ポンプ車	形式	台数	打込み速度	水平配管長さ							
		口径			垂直配管長さ							
	締め	棒突き 人		バイブレイター 台								
	養生方法	夏季()		冬季()								
支保工の撤去	早期に撤去する計画 有 無		(階はり下 日・ 階床版下 日) (階はり下 日・ 階床版下 日) (階はり下 日・ 階床版下 日)									
塩化物の予測	1立方メートルにつき0.3キログラム以下 1立方メートルにつき0.3キログラムを超え0.6キログラム以下 1立方メートルにつき0.6キログラムを超える											

20 コンクリートの劣化対策	塩害対策	
	塩害の要因	有() 無
	アルカリ骨材反応対策	無害骨材の使用 アルカリ総量
21	その他必要な事項	
22	備考	

- (注意) 1 報告者、建築主、工事監理者及び工事施工者が法人のときは、報告者、建築主、工事監理者及び工事施工者の住所及び氏名には、法人の主たる事務所の所在地並びに法人の氏名及び代表者の氏名を記入してください。
- 2 5欄は、宇治市建築主事以外の者が確認済証を交付した場合に記入してください。
- 3 9欄、15欄及び20欄は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- 4 工事施工計画報告書について
- (1) 確認を受けた鉄骨造の建築物で、次のいずれかに該当する建築物については、主要構造部の工事を着手する前に、この報告書に必要な事項を記入し、建築主事に提出してください。また、主要構造部の工事が完了した後、速やかに別に定める工事施工結果報告書に必要な事項を記入し、工事写真及び試験成績表を添えて、建築主事に提出してください。
- なお、対象となる建築物が2棟以上ある場合は、棟ごとに報告書を作成し提出してください。
- ア 地階を除く階数が3以上のもの
- イ 延べ面積が500平方メートルを超えるもの
- ウ その他建築主事が特に必要と認めて指定するもの
- (2) XY方向、高さ方向あるいは平面的に構造が異なる併用構造や鉄筋コンクリート造で大屋根が鉄骨造のものなどは、鉄骨鉄筋コンクリート造用の報告書で報告してください。
- なお、地階が鉄筋コンクリート造のものは鉄骨造用とします。